

# 『紡ぐ』

2021.12.1 第32号

発行 教育相談室「あした塾」

# 風景が変わった!

## 商店街・川島州内 無電柱に

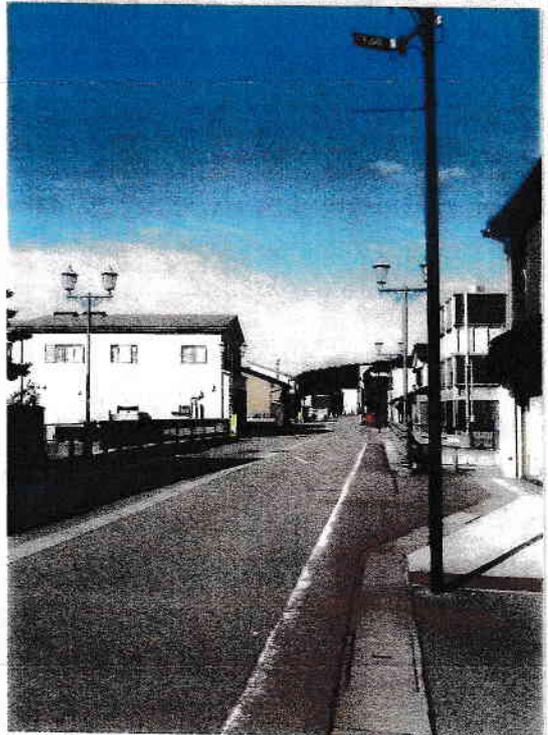
電柱撤去の作業が進められていた、大所商店街の川島州内の電柱が、ツルク無く取り外された。風景は一変する。これに、大所・川島商店街は電柱の無い、実に素晴らしい商店街に作り直された。

さて、ここからは商店街が商店街として機能するのだろうか。旧態依然の雰囲気の商品では...という声があります。守るべきものは守り、改革すべきところは積極的に改革していく姿勢が求められているのではないだろうか。時代の流れをしっかりとらなければならない。取り組みを考えた方がいいだろうか?

「衣料品店にパン屋さんがある」。これミスマッチをヒントに作りませんか! この店もミスマッチを考えた?

商店街丸ごと100円ショップにするのはどうですか?

商店街を知り合いの町だと、と言ってしまえばそれまでですが、風景が変われば、中身も変えていく期が求められているのでは...



# ゴミがなくなる

## 大所ソフトテニス教室の子どもたちが清掃ボランティア活動をする



スポーツ少年団の大所ソフトテニス教室で活動している子どもたちが、自然体験学習を兼ねて、



掘地内の主要な歩道でゴミ拾いの取り組みをしました。人家の近くではほとんどゴミが散らかっていない!、と言っている子どもたちがビックリしたのが道路の両側で山に捨てられているところから来たと言います。

川島5000mの範囲にタイヤや空き缶、ティン缶など大量のゴミが捨てられている。このゴミを拾うのは「命懸け!」と言っている一生涯命を懸けている。(T)

穴水再発見

# 沖波十三塚 (No.2) 発見しました!

10月1日付「紋」第29号で紹介した「沖波十三塚経塚」について再度掲載します。

前回、はつかり様からこの「塚」について、協力をお願いしていた沖波の渡野久憲さんから連絡を受け、現地に行きました。ありがとうございました。

直径4~5mのこもり塚が7つ。どの塚にも頂上付近に「石」が置かれており、中心の塚には写真の様に大きな石柱が建てられています。

前回見つけたものを含め、8つの塚を確認したことになりました。あと5つはわかりません。

今から58年前の1963年に田舎指定記念物・史跡に付いていますが、案内板もほとんど荒い放題です。私も訪れたいのです。インターネットの書き込みを見ると、2016年から2018年の間に家族連山が中心で10数人が訪れています。

「貴重文化財」と記述し他に、「少くも1つは見つかり断念」というものもありました。やはり、現地の整備はもちろん、案内板などの設置も考える必要があります。



塚の頂上付近に建てられた石柱と塚発見に協力してくいた沖波の渡野久憲さん



「経塚」とは経典を永く後世に伝えるための経筒筒を込めて地中に埋め塚を築いたものです。はつかり以前、発見したそうであるが経典は見つかっていません。



一面岸方面から穴水に向かうときに出会ったオシロイ。



寒く感じました。ネコちゃんもふるふるに倒れました。体調に気を付けてください。

何匹居る?



癒す〜!